

令和5年第2回定例会6月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会します。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発 言 順 位

6月16日(金)

(1)	千住	啓介	議員	(自由民主党明石)	…………… P 2
(2)	梅田	宏希	//	(公明党)	…………… P 3
(3)	中川	夏望	//	(市民の会)	…………… P 6
(4)	竹内	きよ子	//	(明石かがやきネット)	…………… P 8
(5)	正木	克幸	//	(明石維新の会)	…………… P 10
(6)	出雲	有希子	//	(自由民主党明石)	…………… P 11
(7)	飯田	伸子	//	(公明党)	…………… P 14
(8)	山中	裕司	//	(市民の会)	…………… P 16

6月19日(月)

(9)	寺井	吉広	議員	(明石かがやきネット)	…………… P 18
(10)	中村	茂雄	//	(明石維新の会)	…………… P 19
(11)	三好	宏	//	(自由民主党明石)	…………… P 20
(12)	国出	拓志	//	(公明党)	…………… P 22
(13)	黒田	智子	//	(市民の会)	…………… P 24
(14)	林	丸美	//	(明石かがやきネット)	…………… P 26
(15)	井藤	圭順	//	(自由民主党明石)	…………… P 27
(16)	河村	和歌子	//	(公明党)	…………… P 29

6月20日(火)

(17)	金尾	良信	議員	(市民の会)	…………… P 30
(18)	宮坂	祐太	//	(明石かがやきネット)	…………… P 32
(19)	榎本	和夫	//	(自由民主党明石)	…………… P 33
(20)	山下	祥	//	(市民の会)	…………… P 34
(21)	辰巳	浩司	//	(自由民主党明石)	…………… P 36
(22)	石井	宏法	//	(自由民主党明石)	…………… P 37
(23)	辻本	達也	//	(日本共産党)	…………… P 38
(24)	中西	礼皇	//	(対話の会あかし)	…………… P 40
(25)	家根谷	敦子	//	(スマイル会)	…………… P 41

※順位については予定です。

発言順位	1	議員名	千住 啓介 (自由民主党明石)
発言事項	<p><b>1 丸谷聡子新市長の施政方針について</b></p> <p>(1) 本市の諸課題について (要旨) 市政のかじ取りを行うにあたり、まずは課題認識が必要である。本市は人口増加に伴い好循環が生まれた大変すばらしいまちというイメージがある反面、課題も多く生まれている。また、積み残した課題も多くある。それらの課題を議会並びに市民と共に共有する必要がある。本市の課題についての認識を問う。</p> <p>(2) 歳入と財源確保について (要旨) 今年1月、市より子供施策拡充にあたり10年間の財政収支見通しの説明が行われた。そこには10年間で約1万人の人口増加を見込んでおり、市税並びに交付税の増収を当て込んでいるものであった。本市の人口増加施策はどのようなものなのか。また、確実な財源確保に努めなければならないと考えるが、その認識を問う。</p> <p>(3) 新市長の所信表明について (要旨) 前市長の施策の継続ということもあり、あまり代わり映えのない所信表明であったと感じた。本市の諸課題解決や長期総合計画に沿った持続可能なまちを創造するにあたり、所信表明で述べた重点施策だけでは弱いと考えるが、その認識について問う。</p>		

発言順位	2	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p><b>1 新市長の所信表明について</b></p> <p>(1) 「市民目線、市民のため、市民とともに」の市民の認識について  (要旨) 本市の自治基本条例における市民の定義は、第2条1項に「市民 市内に居住する者(以下「住民」という。)、市内で働き、若しくは学ぶ者又は事業者等をいう」とある。これまでの市政運営の市民との違いをお答えください。</p> <p>(2) 市政運営の基本方針について  (要旨) 一つ目の「支援がまだ十分に行き届いていない人」、二つ目の「グリーンリカバリーの取組」、三つ目の「何事も行政だけで進めて行く時代ではない」、以上三点について、具体的な認識をお答えください。</p> <p>(3) 重点的に推進する施策の8つの項目について  (要旨) 「SDGs 未来安心都市・明石」の実現を目指しての8つの施策について、経済・社会・環境の3つの側面から、開発目標17のうち、8番目と9番目の経済について本市の取組が俯瞰的に見えない。農業・漁業・工業・商業の観点からのお考えをお答えください。</p> <p>(4) 「シビックプライドを高める」について  (要旨) 各分野のテーマや地域ごとなど、幅広く対話の場を設け、取組を積み重ねることで、自分たちのまちを市民自らが主体的に創っていくことにつなげるとしている。関東圏、関西圏の人口10万人以上の151自治体調査の総合ランキング14位をどのように評価し、市民と共有して取り組んでいくのか、お答えください。</p> <p>(5) 「職員と一丸となって日本一やさしい市役所」と近隣市町について  (要旨) 「職員との信頼関係を構築」については当然の課題ですが、東播磨臨海行政圏の県民局と3市2町、神戸市と神明協議会、淡路市と海峡交流都市等の近隣市町との友好関係の再構築に触れていない。地政学的に大事な視点であり、お考えをお答えください。</p> <p><b>2 带状疱疹ワクチン接種の助成制度について</b></p> <p>(1) 本市における带状疱疹発症の実態把握等について  (要旨) 本年に入り、带状疱疹発症や带状疱疹後神経痛について、多くの市民からワクチン接種費助成制度の要望をお聞きしている。本市における带状疱疹発症の実態把握、ワクチン接種に関する動向把握についてお答えください。</p>		

発言順位	2	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>(2) 市民への带状疱疹に関する情報発信と啓発について  (要旨) 50歳以上の水痘・带状疱疹ウイルス抗体保有率は100%と言われ、80歳までに30%が発症する国民病と言っても過言ではない。高齢者が発症した場合、発症後神経痛、重篤化、合併症リスク等が報告されている。市民への情報と啓発についてお答えください。</p> <p>(3) 国・県に先駆けて、2種類のワクチンに公費助成制度を導入する意向について  (要旨) 令和3年及び4年9月議会一般質問では、国の動向、集団予防の有効性、費用対効果など消極姿勢の答弁に終始し、事業化する予定はないと断言している。高齢者全般の健康と命に関わる対策であり、全国で助成制度が急速に進み、現在203自治体が公費助成を開始している。SDGsの3番目「すべての人に健康と福祉を」を掲げながら、言動不一致ではないか。お考えをお答えください。</p>		
	<p><b>3 熱中症対策について</b></p> <p>(1) 本市の熱中症の現状と対応について  (要旨) 政府は5月30日、熱中症対策について関係府省庁が今後5年間で取り組む実行計画を閣議決定し、2030年までに死者数を半減させることを柱とした。本市の現状と対応についてお答えください。</p> <p>(2) 高齢者の熱中症対策について  (要旨) 本市の令和4年の熱中症による搬送実績を見ると、半数が高齢者であり、46%が自宅からの搬送である。搬送後に40%が入院していることから、重点的に高齢者対策に取り組むべきと思うが、お考えをお答えください。</p> <p>(3) 子どもの熱中症対策について  (要旨) 幼稚園、保育園、小中学校等の学校園における熱中症対策については、近年の温暖化を踏まえた、熱中症警戒アラートの対応も含めて、どのような体制整備をしているのか、お答えください。</p> <p>(4) 全市民への情報伝達について  (要旨) 4月26日から10月25日まで、環境省と気象庁が新たに提供する熱中症警戒アラートは、一般市民、農作業従事者、労働者にも提供する必要があると考えるが、本市として取組をお答えください。</p>		

発言順位	2	議員名	梅田 宏希(公明党)
発 言 事 項	<b>4 山手小学校の教育環境について</b>		
	(1) 運動場用地の買収について		
	(要旨) 令和4年9月議会の市長答弁では、隣接する北側の民地を購入すると明言しましたが、その後に進展が見られない。聞くところによると、民間業者が買い取ったとのことですが、経緯についてお答えください。		
	(2) 学校教育法上の運動場との整合性について		
	(要旨) 児童数721人以上での運動場の広さは、7,200平米となっている。施設台帳上は、5,662平米であるが、プレハブ教室、遊具、学童クラブの面積を除くと5,000平米以下になるのではないか。これらの施設を移転して、少なくとも施設台帳上の面積に復元することを考えるべきである。お考えをお答えください。		
(3) 山手幼稚園との一体整備について			
(要旨) 学校用地の拡幅ができない現状を解決するには、幼稚園運動場、平屋の幼稚園舎との一体整備によって課題解決するしかないのではないか。お考えをお答えください。			
(4) 児童数の将来推計と教育環境について			
(要旨) 山手小学校の児童数について、ピークをどのように推計しているのか。その推移の上から、教育環境整備のお考えをお答えください。			

発言順位	3	議員名	中川 夏望(市民の会)
発言事項	<p><b>1 丸谷市政の目指すまちづくりについて</b></p> <p>(1) 市民目線でのまちづくりについて  (要旨) 多くの市民の思いを受けて、丸谷市政が誕生しました。選挙期間中から、誰一人取り残さない、こどもを核としたまちづくりを継続し、市民と共に、もっとやさしい明石のまちを創ると言ってこられました。改めて市長としてのお考えをお聞かせください。</p> <p>(2) 持続可能な明石のまちづくりについて  (要旨) SDGs 未来都市・明石として、今後、どのように持続可能なまちづくりを進めて行かれるのか、お聞かせください。</p> <p><b>2 市民参画による財政白書の作成について</b></p> <p>(1) 市民参画による財政白書の作成について  (要旨) 埼玉県和光市では、財政白書作成委員会を設置し、市民から公募で委員を選出している。また、東京都日野市では、財政状況や在り方を評価・検討し、市民と市が協働で財政健全化に向け行動するための市民グループである「健全財政を考える会」を発足し、両市とも市民が中心となり財政白書を作成している。市民が議論を重ね、本市の財政状況を正確に知ってもらい、市民自ら行動を起こしてもらおうきっかけづくりのためにも、本市でも市民と共に財政白書を作成してはどうか。見解を問う。</p> <p><b>3 女性の活躍推進について</b></p> <p>(1) 企業に女性活躍推進を促す取組について  (要旨) 女性活躍推進法に基づく優良企業は、厚生労働省が認定する「えるぼし認定」を取得することができ、公共調達で加点評価が得られたり、人材確保・定着が進んだりするなど、企業側にもメリットがあると聞いている。  本市においても女性活躍を推進するために、「えるぼし認定」を周知させてはどうか。また、明石市ジェンダー平等プロジェクト報告書に優良事業所の登録・表彰制度の創設とあるが、「えるぼし認定」の取得も対象とし、取得を促してはどうか。見解を問う。</p>		

発言順位	3	議員名	中川 夏望(市民の会)
発言事項	<p>(2) 行政職の女性管理職比率向上のための取組について  (要旨) 2023年4月1日に、「あかしジェンダー平等の推進に関する条例」が施行された。本市では、「明石市特定事業主行動計画」を策定しているが、目標未達となっている係長級の女性比率の現在の進捗について、10年目となる2026年4月までにどのように取り組んでいくのか。  また、介護休暇、育児休業だけでなく、勤務時間や職場の理解等の職場環境の整備も併せて行う必要があると考えるが、本市では具体的にどのような取組を行っているのか。見解を問う。</p> <p>(3) ウィメンズ・アカデミーの開催について  (要旨) 昨年、明石市主催で女性のリーダー育成のためのセミナーとして、第1回ウィメンズ・アカデミー in 明石が開催された。当年度も開催する予定はあるのか。また、中高生を対象としたセミナーなど、さらなる展開は考えているのか。見解を問う。</p>		
	<p><b>4 医療的ケア児への対応について</b></p> <p>(1) 医療的ケア児への支援体制について  (要旨) 2021年に医療的ケア児支援法が施行された。本市における医療的ケア児を支援する体制についての現在の課題と、今後の取組について問う。  また、医療的ケア児支援法は、医療的ケア児の家族の離職の防止も目的としている。家族の離職防止のための措置として考えられる保育所や学校、放課後デイサービス等に対する本市の支援状況はどのようになっているのか。見解を問う。</p> <p>(2) 児童福祉法等の改正への対応について  (要旨) 2024年4月に児童福祉法等の一部改正が施行される。この改正に伴い、本市ではどのような対応を行っていくのか。また、本市で該当となるゆりかご園、あおぞら園などの現場や保護者・当事者にとっては何が変わるのか。見解を問う。</p>		

発言順位	4	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発言事項	<p><b>1 市長所信表明について</b></p> <p>(1) こどもの育ちと多様な学びを支える教育環境の改善について  (要旨) 市長所信表明の中で、重点施策として、こどもの育ちと多様な学びを支える教育環境の改善などに取り組む旨を言及されています。教育現場では教職員不足、教育設備の老朽化、校舎整備、エレベーター設置、トイレ改修などの課題があります。こどもたちにとっての教育環境整備をどのように認識しているのか、市長の所感を問う。</p> <p>(2) 都市基盤の整備について  (要旨) 市長所信表明において、都市基盤整備分野に係る言及がなかったことに驚きと不安を感じています。慢性化している交通渋滞の解消・改善、市民の生命を守るために必要不可欠なソフト・ハード両面での交通安全対策や浸水対策、老朽化したインフラ設備の計画的な更新、安全安心はもとより、良質な水道水を持続可能に供給するための方策など、都市基盤整備分野の施策の重要性についてどのように認識しているのか、市長の所感を問う。</p> <p><b>2 放課後児童クラブについて</b></p> <p>(1) 放課後児童クラブの組織・指導体制について  (要旨) 共働き世帯の増加に伴い、放課後児童クラブを利用している児童も増えているが、組織体制をどのように強化しているのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 令和5年度の放課後児童クラブ数の見通しと施設対策について  (要旨) 昨年度から、入所希望者のほとんどを受け入れていると聞かれますが、今後も児童の増加が予想され、施設が足りなくなるのではないかと危惧するが、対策について市の見解を問う。</p> <p><b>3 JR大久保駅南ロータリーへの複合施設建設について</b></p> <p>(1) 現在の取組状況について  (要旨) 令和5年3月議会において、施設設計予算が減額された中、どのように進めていくのか。市の見解を問う。</p> <p>(2) 市民参画について  (要旨) 令和元年に行われたタウンミーティング、本のまちアンケートを基に、改めてワークショップやタウンミーティングなどを開催して、市民の意見を聞く計画はないのか。市の見解を問う。</p>		



(代表質問)

発言順位	4	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発言事項	<b>4 2023年統一地方選挙について</b> (1) 明石市長・明石市議会議員選挙について (要旨) 法令を遵守し、選挙に取り組むことが前提であるが、問い合わせ、苦情などはどのような内容があったか。また、どのように対応されたのか。選挙管理委員会の見解を問う。		

発言順位	5	議員名	正木 克幸 (明石維新の会)
発言事項	<p><b>1 明石市の財政状況について</b></p> <p>(1) 市民への財政状況の情報開示について  (要旨) 広報紙に掲載されていたような特定の部分にフォーカスした発信方法をとるのか、または、ホームページで公開されているような全般的な財政状況を掲載した「かんたんな決算の説明書」のようなものをつくるのか。市の見解を問う。</p> <p>(2) 産業発展や企業支援のビジョンについて  (要旨) 安定性の高い税歳入を確保するためには、法人市民税や法人からの固定資産税の確保は今後の財政力強化には必須であると考察するが、これまで産業発展や企業支援が取り残されていた現状及び今後について、市の見解を問う。</p> <p>(3) 歳出割合について  (要旨) 民生費比率が高い現状があるが、その民生費に関わる市民の中でもサービス提供が偏重しているのではないかと。また、民生費に関わらない、全ての市民へのバランスの取れたサービス提供を目指すのか。市の見解を問う。</p> <p><b>2 資産を活用した財源確保について</b></p> <p>(1) 大規模市有地の活用方法について  (要旨) J T跡地や西明石旧国鉄清算事業団用地などを単発的な売買の手法での売却益を求めて財源とするのか、または、視点を広げてPPPでの官民連携開発や公的不動産活用事業などの視点からの長期的な税収入を目指すのか。市の見解を問う。</p> <p>(2) 大久保駅周辺市有地の利活用について  (要旨) 近隣市有地との連動性を持った計画ではなく、単独開発を進めるのか、または、ランニングコストや収益性を考察した上で連動性を持った開発を進めるのか。市の見解を問う。</p> <p>(3) 大久保北部スマートインター設置について  (要旨) 市所有資産の最有効活用という視点からも、自然と共存しながらの開発は財政力強化には必要不可欠であると思慮する。スマートインターの設置は産業発展の起爆剤としても大きな効果が見込めるが、開発についての市の見解を問う。</p>		

発言順位	6	議員名	出雲 有希子（自由民主党明石）
発言事項	<p><b>1 明石市の治水について</b></p> <p>(1) 明石川 J R 橋梁前後の堆積土及び草木の除去について  (要旨) 台風及び長雨の時期が近づくにつれ、地域住民から明石川の氾濫防止についてお尋ねがある。川の水が順調に流れるための整備に係る県との協議について聞く。</p> <p>(2) 合流管を分流管へ転換する工事が難しい場合の代替案について  (要旨) 合流管のままでは想定外の大雨が降った場合、汚水と混じった雨水が道路へ容易に逆流することが考えられるが、対策はどう考えておられるのか。分流管へ変更することが一番の対策であるのは周知の事実であるため、分流化へ向けての予定と、難しい場合の代替案があるのか聞く。</p> <p>(3) 合流管の高潮対策について  (要旨) 船上浄化センターの処理能力を超える雨が降った場合、直接、管の中の水をポンプで海に流す処置をしていると聞いた。それを上回った場合には、吐室から海に放出するとも聞いたが、大潮や波で潮位が高い場合、海水が逆流するおそれがあると聞いている。  高潮の際の海水の逆流対策と、浸水被害があった平成16年の台風以降に行った対策について聞く。</p> <p>(4) 自助努力について  (要旨) 公助でできる範囲はできる限り努力してもらおうが、自助の部分については、現在のハザードマップでは大まかすぎると感じる。より細かく、危ないところには前もって土のうを配るなどの配慮とわかりやすいアナウンスをされてはどうか。</p> <p><b>2 市民病院の建て替えについて</b></p> <p>(1) 今後の市民病院の在り方について  (要旨) 令和5年3月本会議において、「今後は、病院で目指すべき診療体制や病院機能、中長期的な視点に立った投資計画など、構想の具体的な検討を進めていく」と答弁があったが、病院の設置者は市長である。設置者の責任において検討を進めるべきであると考えている。  建て替えをするのかどうか、現地建て替えなのか移転なのか、大きな方針を市が出さないのに、中長期的な視点に立った投資計画など構想の具体的な検討はできないと考えるが、市の考えを聞く。</p>		

発言順位	6	議員名	出雲 有希子（自由民主党明石）
発言事項	<p>(2) 「医療現場や病院経営の観点からさらなる調査・検討が必要」とは具体的にどのような項目を指すのか。</p> <p>(要旨) 令和5年3月本会議で市幹部からは、「医療現場や病院経営の観点からさらなる調査・検討が必要」と答弁があったが、具体的にどのような項目を指すのか。</p> <p>(3) 市長の言われる検討会について</p> <p>(要旨) 市長選候補者として丸谷市長は、「早急に検討会を立ち上げ、市民の声もしっかりと聞いて、市民が願う市民病院にしたい」とアンケートに答えられている。</p> <p>既に、今年の3月に「今後の病院体制のあり方に関する報告書」が議会にも提出されているが、地域の医療提供体制、医療需要の将来予測と医療政策の展望、市民病院が将来目指すべき医療体制など、きめ細かく、データによる分析も終わっている。市長の言われる検討会で何を検討するのか、具体的にお答えいただきたい。</p> <p>また、地域住民代表や医師会代表、学識者に集ってもらい同じことを検討することは、あり方検討会で真摯に議論していただいた地域住民代表や医師会代表、学識者の方々に礼を失すると思うが、どのようにお考えでしょうか。</p> <p>(4) 県立がんセンター跡地への建て替え及び移転について</p> <p>(要旨) 令和5年4月に市民病院を県立がんセンター隣に移転する案が新聞に掲載されたが、市民の関心も高いと感じている。</p> <p>市民病院を県立がんセンター隣に移転することのメリット、デメリットは何か。交付税措置などの建設に対するメリット、デメリット、その後の病院運営、経営に対するメリット、デメリット、何においても市民へのメリット、デメリットについて教えていただきたい。</p> <p>また、県立がんセンターの再整備の計画も進んでいるので、連携強化・機能分化を図るのであれば、早期に市民病院の再整備の方向性だけでも示すべきである。市が主体となって早期の検討開始が必要であると思うが、どうお考えであるか聞く。</p>		

発言順位	6	議員名	出雲 有希子（自由民主党明石）
発言事項	<p><b>3 市長の議会に対する認識について</b></p> <p>(1) 議会での議決より先にマスコミ発表がある点について  (要旨) 市の施策は議会の承認があって進められるものだと思って議員になったのだが、先般、まだ話し合われてもいない「サポート券3,000円の配布」が新聞で発表された。あたかも決定したかのようにマスコミに発表するのが本市の通常の議会対応なのか。市長の認識を問う。</p>		

発言順位	7	議員名	飯田 伸子 (公明党)
発言事項	<p><b>1 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の医療提供体制整備について</b></p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の市内医療機関での医療提供体制について  (要旨) 5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、市内の医療機関で幅広く対応しているが、現状を問う。</p> <p>(2) 流行拡大時の医療体制整備について  (要旨) 今後、新型コロナウイルス感染症の流行が拡大した場合の医療機関での医療提供体制は整備できているのか、現状を問う。</p> <p><b>2 市内鉄道駅周辺の吸い殻等のポイ捨て防止について</b></p> <p>(1) 本市の現在の取組について  (要旨) 市民より鉄道駅周辺に吸い殻等のごみが落ちているとの声がある。本市は主要駅周辺を喫煙防止マナーアップ区域に設定しているが、ポイ捨て防止への具体的な取組について問う。</p> <p>(2) 主要駅以外の駅周辺での吸い殻等のポイ捨て防止への今後の取組について  (要旨) 主要駅以外の駅周辺での吸い殻等のポイ捨て防止にもしっかりと取り組む必要があると考える。市の見解を問う。</p> <p>(3) 「明石市空き缶等の散乱及びふん害の防止に関する条例」の名称変更について  (要旨) 本条例の本文には、たばこの吸い殻という表記があるが、名称には入っていない。ポイ捨てされているごみは吸い殻が多いため、たばこの吸い殻という表記を名称に入れることにより、市民の意識向上を図ってはどうか。市の見解を問う。</p> <p><b>3 在宅介護に対する支援の充実について</b></p> <p>(1) 通院支援タクシー券及び福祉タクシー券の使用枚数制限撤廃について  (要旨) 本市の通院支援タクシー券及び福祉タクシー券は、1回の乗車につき2枚1,000円相当分しか使用できない。福祉タクシーを利用したり遠方へ通院する場合は運賃が高額になるため、市民より使用枚数の制限を撤廃してほしいとの声がある。市の見解を問う。</p> <p>(2) 介護保険の特定福祉用具購入における受領委任払いの導入について  (要旨) 介護保険で特定福祉用具を購入する際は償還払いとなっているが、高齢者世帯には負担が大きい場合が多い。受領委任払いを導入し、負担分のみの支払いにできないか。市の見解を問う。</p>		

発言順位	7	議員名	飯田 伸子(公明党)
発言事項	<p>(3) 介護用品支給事業の周知について  (要旨) 介護用品支給事業は、市ホームページを見ても詳細が掲載されておらず、分かりにくい。おむつ関連費用は負担が大きいため、在宅介護世帯へ広く分かりやすく周知する必要があるのではないか。市の見解を問う。</p> <p><b>4 骨粗しょう症検診の実施について</b></p> <p>(1) 骨粗しょう症予防対策について  (要旨) 高齢化の進展により、今後、骨粗しょう症患者の増加が見込まれている。市の骨粗しょう症予防対策の現状を問う。</p> <p>(2) 骨粗しょう症検診の実施について  (要旨) 国が5月に発表した健康日本21(第三次)には、女性に関する項目が新設され、骨粗しょう症の検診受診率向上の目標が明記されている。市も骨粗しょう症検診を実施し、市民の骨粗しょう症予防に取り組むべきではないか。市の見解を問う。</p>		

発言順位	8	議員名	山中 裕司(市民の会)
発言事項	<p><b>1 明石の高齢者支援の充実について</b></p> <p>(1) 一人暮らし高齢者の見守り支援の現状と課題について  (要旨) 現在、見守り支援の回数が月1回になっているが、十分な支援ができているのか。また、見守りサポーターとして社会福祉協議会の職員が安否確認で家庭訪問しているが、負担が大きいのではないか。現状と課題について、市の見解を問う。</p> <p>(2) 在宅医療と在宅介護の支援体制について  (要旨) 国は、医療を提供する現場を病院から在宅へとかじを切っており、在宅医療の推進が強く求められている。在宅療養を始める本人と介護する家族のために支援体制の構築が急務であると考えますが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 高齢者の就労や社会貢献活動の機会の創出について  (要旨) 高齢者が前向きかつ意欲的に生活していくための選択肢として、就労や社会貢献・地域活動への参加活動が選択できる仕組みを構築する必要がある。本市も活動先とのマッチング機能や情報提供機能・相談支援体制の強化を図るべきであると考えますが、市の見解を問う。</p> <p><b>2 地域支え合いの家設置運営事業の拡充について</b></p> <p>(1) 地域支え合いの家の現状について  (要旨) 現在3か所開設されている地域支え合いの家は、いまだにパイロット事業として実施されているが、市としてどのように評価し、検証しているのか、進捗状況を問う。</p> <p>(2) 持続可能な仕組みづくりについて  (要旨) 現在は、人件費が出ない無償ボランティアが原則になっているが、今後、持続可能な事業としていくためには、事務従事者の人件費や若い世代にも参画してもらえよう有償ボランティアの仕組みづくりが喫緊の課題だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p><b>3 大久保北部の里山の自然環境を明石の宝として次世代につないでいくことについて</b></p> <p>(1) 今年度の整備状況と利用方法について  (要旨) 今年度は、旧野外キャンプ場跡地にトイレや水道施設の整備を行うと聞いているが、その進捗状況と市民はどのように利用できるのか、市の見解を問う。</p>		



発言順位	8	議員名	山中 裕司(市民の会)
発言事項	<p>(2) 環境教育の場としての活用について  (要旨) 生物多様性の保護、保全を担保した上で、子どもたちが明石の自然を体感し、生きる力を育むための環境教育、野外体験の場として活用できればよいと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 里山条例の制定について  (要旨) 明石市で残っている数少ない里山を次世代につないでいくためには、条例を制定して、保護、保全していく必要があると考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	9	議員名	寺井吉広(明石かがやきネット)
発言事項	<p><b>1 市民の交流の場について</b></p> <p>(1) あかし市民広場について  (要旨) 新型コロナウイルス感染症の影響で利用停止となり、引き続き「マイナポイント申込&amp;サポート」会場として利用するため利用停止期間を延長するとあるが、再開を望む声は多い。一日も早く再開してはどうか。また、再開後の使用条件等についても問う。</p> <p>(2) 産業振興の交流拠点について  (要旨) 平成31年4月より、旧産業交流センター1階は、あかし保健所の管理運営となり、市内には産業振興の交流拠点が無い。市民が自由に利用できる空間が必要であると考え、どうか。</p> <p><b>2 文化の香るまち明石について</b></p> <p>(1) 文化を活かした観光振興と地域の活性化について  (要旨) 令和2年5月1日に文化観光推進法が施行され、令和3年12月議会において、法律に基づいた本市の文化・観光・経済の循環に向けた取組について質問をした。本市においても今後、取り組む必要があると答弁があったが、その後の取組はどうか。</p> <p>(2) 明石の食文化について  (要旨) 我が国に根づいた多様な食文化は、各地の自然風土と調和した先人の生きる知恵と経験のたまものであり、未来に継承すべき伝統文化の一つである。明石は食のまちであり、発酵文化もある。さらに国内外へ向けて発信すべきと考えるが、どうか。</p>		

発言順位	10	議員名	中村 茂雄 (明石維新の会)
発 言 事 項	<p><b>1 休日における部活動の地域移行について</b></p> <p>(1) 移行を見据えた本市における現在の取組について  (要旨) スポーツ庁・文化庁は、2023年度より「可能な限り早期の実現を目指す」としていますが、本市は何年後をめどとして、地域移行を進めようとしているのか、お聞かせいただきたい。</p> <p>(2) 地域等との連携に向けた取組について  (要旨) 運動部活動は、地域や学校、競技内容等に応じた多様な形で最適に実施しなければなりません。本市の地域スポーツ団体や文化団体等と学校との連携・協働について、どのように進めているのか。現段階でどのような取組が進んでいるのか、お聞かせいただきたい。</p> <p>(3) 学校外で部活動をするための環境づくりについて  (要旨) 地域におけるスポーツや文化活動の機会の確保、地域団体や民間事業者及びスポーツクラブ等、活動場所の確保も問題になってくると思われます。  生徒が引き続き活動できる受け皿や多様な選択肢を持てるような環境整備も必要となります。本市が進める休日の部活動の在り方について、お聞かせいただきたい。</p>		

発言順位	11	議員名	三好 宏 (自由民主党明石)
発言事項	<p><b>1 工場等の緑化に関する届出について</b></p>		
	<p>(1) 工場等の緑化に関する届出について  (要旨) 明石市工場立地法地域準則条例は、議員提出議案を経て昨年5月に条例公布されているが、条例制定後、市は兵庫県へ「工場等の緑化に関する届出」を提出していない。条例の対象となる特定工場、つまり敷地面積が9,000㎡以上の工場は、敷地の有効活用が可能となったが、9,000㎡未満の工場に対しては依然として20%の緑地を設定しなければならない。  昨年12月議会でも、条例公布後の半年以上が経過した際にも質問をしたが、市の答弁は「調査検討中」との答弁であった。その後、市から条例改正案が本年3月議会に提案され否決となっている。条例施行後1年以上が経過している状況で、いつまでもこの逆転現象を放置するのは、公平性・平等性の観点から言っても不条理である。市の認識と、今後の対応を問う。</p>		
発言事項	<p><b>2 公共施設のネーミングライツについて</b></p>		
	<p>(1) 公共施設のネーミングライツについて  (要旨) 兵庫県の公共施設においては、積極的な自主財源を確保すると  の観点から、民間活力を大いに生かすことも含めて、ネーミングライツを導入している。それに倣って、神戸市・尼崎市・西宮市・姫路市・加西市などもネーミングライツ制度を導入している。県立明石公園内でも、野球場は「明石トーカロ球場」、陸上競技場は「きしろスタジアム」、テニスコートは「NDK来夢・嬉しの森テニスコート」など、市内企業が各施設のネーミングライツ権を所有している。  本市においても、公共施設の指定管理者制度を導入しているが、それと併せて、ネーミングライツ制度も積極的に導入するべきであると考え。ネーミングライツ制度を導入することにより、市内企業の協力も得ながら、その施設に投じる大切な市民の税金を最小限にとどめることが、これから必要な持続可能な市政運営につながるのではないかと考えるが、市の認識を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	三好 宏 (自由民主党明石)
発言事項	<p><b>3 市役所新庁舎について</b></p>		
	<p>(1) 市役所新庁舎整備に向けた進捗状況について  (要旨) 現在の庁舎は築50年以上が経過し、耐震基準も含めて老朽化が懸念されている。また、バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応も十分とは言えず、これからの市政運営のみならず、災害時にはその対応の核となるべき重要な施設であることから、2017年には「市役所新庁舎建設基本構想」を策定し、新庁舎建設に向けて取り組んでいる。そして、本年3月には「市役所新庁舎建設基本設計」を市議会の合意のもと策定して、令和6年3月議会には実施設計を完了し、本格的な建設工事へ移行しようとしている。</p> <p>今後は、市民参画条例にあるように、市民参画の手順は遵守しながらも、国からの交付金(市町村役場機能緊急保全事業)を最大限に活用しながら、順調に実施設計完了まで行うことが必要である。近年のあらゆる物資が高騰している現状を加味して、いかに費用を抑えつつ、最大限の効果を生み出すことが必要不可欠である。現状の認識と進捗状況、今後のスケジュールを聞く。</p>		
<p><b>4 明石市新ごみ処理施設整備について</b></p>			
<p>(1) 明石市新ごみ処理施設整備について  (要旨) ごみ処理施設である「明石クリーンセンター」は、1999年の供用開始から25年目を迎え、経年劣化が進んでいる。ごみ処理能力を維持していくには、多額の保全工事費・維持費が必要となっており、2017年から建て替えに向けた検討を行っている。</p> <p>本年度は施設整備基本設計や解体工事基本設計に着手しようとしているが、2019年度の事業者からの概略見積では、施設整備費は約418億円、施設運営費は20年間で約256億円という莫大な予算が必要となる。また、近年の建設資材の高騰による影響も予想されることから、さらなる費用増が見込まれる。ごみ処理業務は、市民生活に密接している行政が担う重要な役割のひとつであることから、国の交付金制度を最大限に活用しながら、大幅なコストダウン策を講じることが必要不可欠である。</p> <p>進捗状況と今後のスケジュール、また、事業費抑制に向けた取組を聞く。</p>			

発言順位	12	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p><b>1 防災・減災対策について</b></p> <p>(1) デジタル技術で人命を守る「防災DX」について  (要旨) 専用アプリの開発をはじめとしたシステムの導入を検討いただき、災害時にリアルタイムで市民の命を守り、情報の共有が瞬時にできる防災DXの導入は喫緊の課題と考える。市の認識と今後の取組方針について聞く。</p> <p>(2) 気象防災アドバイザーについて  (要旨) 年々、激甚化する災害に備え、市民の命を守り、より安全で安心して暮らせるまち明石とするためにも、防災・減災対策の一環として気象防災アドバイザーを委嘱し、さらなる安全対策を講じていくべきである。</p> <p><b>2 救急安心センター事業（#7119）について</b></p> <p>(1) #7119に対する認識について  (要旨) 救急安心センター事業（#7119）は、神戸市にはあるが、本市にはない。また、それに代わる仕組みもないが、市の認識を問う。</p> <p>(2) #7119の導入に向けた取組をしないか。  (要旨) 本市にも#7119を設置し、より緊急性を伴う救急車の必要かつ的確な出動に寄与するとともに、30万人の市民の命を守るためにも、少しでも的確なアドバイスを早期に受けられるようにしていくべきである。</p> <p><b>3 認知症施策について</b></p> <p>(1) 認知症の市民に対する個人賠償責任保険を導入しないか。  (要旨) 認知症の家族を抱える市民が少しでも安心して暮らせるまち明石としていくためにも、この個人賠償責任保険を本市としても導入していくべきである。</p> <p><b>4 文部科学省による第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」について</b></p> <p>(1) 学校図書館への新聞配備について、小中高の現状は。  (要旨) 現状を問う。</p> <p>(2) 昨年6月より本年に至る、この1年における市の検討事項について  (要旨) 昨年の質問から、1年が経過するが、この1年の検討内容を問う。</p>		

発言順位	12	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>(3) 文部科学省による第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」における新聞配備や学校図書、蔵書等の現状と今後の具体的な取組方針について</p> <p>(要旨) 国の方針どおり、その実現に向けた取組をしていくべきと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	黒田 智子(市民の会)
発言事項	<p><b>1 山手小学校の教育環境について</b></p> <p>(1) 児童数推移予測と教室確保の必要性、今後の取組について  (要旨) 山手小学校の教育環境については新聞でも取り上げられ、保護者をはじめとする地域の方々から心配の声を聞いています。児童数推移予測と教室確保の必要性、今後の取組について、市の認識を問います。</p> <p>(2) 運動場拡張に向けた土地購入の進捗と他のプランについて  (要旨) 運動場拡張に向け、周辺の土地購入の進捗はどのようになっているのでしょうか。また、土地購入以外の検討はされたのでしょうか。例えば水泳授業を民間委託し、プールを潰して拡張することはできないのでしょうか。市の見解を問います。</p> <p>(3) トイレの洋式化について  (要旨) トイレ待ち解消のための洋式化計画について、山手小学校における緊急修繕の必要性と整備計画について、市の見解を問います。</p> <p><b>2 不登校と行きしぶりの児童生徒と保護者支援について</b></p> <p>(1) 不登校児童生徒支援の現状と課題、今後の取組について  (要旨) 「不登校を本格化させないための取組」に対して、「不登校が本格化してからの支援」はできていないとの声を聞いています。不登校児童生徒への支援の現状と課題、今後の取組について、市の見解を問います。</p> <p>(2) スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門職の配置について  (要旨) 教育以外の業務について、市独自でスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの専門家をより手厚く配置し、教員の負担軽減を図ると同時に、不登校を含む子どもたちの問題解決を図りやすくしてはどうか。市の見解を問います。</p> <p>(3) 保護者支援の現状と課題、今後の取組について  (要旨) 学校に行きづらい子どもを持つ保護者は孤立しがちであるため、共感し合える居場所づくりや社会資源をまとめた冊子など、情報を分かりやすく発信し、保護者を取り残さない寄り添う支援が必要と考えますが、市の見解を問います。</p>		



発言順位	13	議員名	黒田 智子(市民の会)
発言事項	<p><b>3 オーガニック給食について</b></p> <p>(1) 2023年1月に試行したオーガニック給食について  (要旨) オーガニック給食に向け、今年1月市内中学校では試験的にオーガニックのたまねぎ・にんじん・大根を使用した給食が実施されました。実施してどうだったのか、検証結果を問います。</p> <p>(2) オーガニック給食の本格導入に向けて  (要旨) 検証結果を踏まえて、本格導入に向けてどのように進めていかれるのか、市の見解を問います。</p> <p>(3) 全国オーガニック給食協議会への参加について  (要旨) この度、学校給食の有機化を全国で実施していくことを目指して、全国オーガニック給食協議会が設立されました。本市も同協議会に参加し、全国の実現に向けた取組を参考に進めてははいかがでしょうか、見解を問います。</p> <p><b>4 行政手続きのオンライン化と子育て応援アプリの連動について</b></p> <p>(1) あかし子育て応援アプリとの連動について  (要旨) 本市のDX化により、「あかし子育て応援アプリ」からも行政手続きができるよう連動させてはどうか。市の見解を問います。</p>		

発言順位	14	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p><b>1 議案第50号 令和5年度明石市一般会計補正予算（第3号）市民全 員・事業者サポート事業について</b></p> <p>(1) 事務費について  (要旨) 1人当たり3,000円分のサポート利用券を全市民に配布する本事業における事務費について、見解を問う。</p> <p>(2) デジタル化について  (要旨) 過去2回行われた本事業に関する議論の中で、サポート券をデジタル化してはどうかという意見があった。今回3回目となる本事業も、これまでと同様に紙の金券を発行する内容だが、デジタル化について進めるつもりはないのか、見解を問う。</p> <p>(3) 本当に困っている方への支援について  (要旨) コロナ禍における世界情勢を見ると、物価高騰による市民生活への影響はまだまだ続くと思われる。交付金ありきの事業だけではなく、継続的に市民生活に密着した支援と周知が必要と考えるが、市の見解を問う。</p> <p><b>2 オーガニック給食について</b></p> <p>(1) 本市における取組状況について  (要旨) 令和3年6月議会において、「幼小中学校給食の無添加を目指す請願」が採択された。令和4年度には中学校給食において、有機野菜を用いた献立が実施されたが、取組の詳細について問う。</p> <p>(2) 課題と今後について  (要旨) 実施して明らかになった課題、また、今年度や今後の取組について問う。</p> <p>(3) 予算化しないか。  (要旨) オーガニック給食に関して、国の交付金活用や条例化している自治体もある。生産者の支援も含めて、抜本的な取組が必要ではないかと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	15	議員名	井藤圭順（自由民主党明石）
発言事項	<p><b>1 災害時における本市の対応について</b></p> <p>(1) 明石市事業継続計画（BCP）について  (要旨) 地域防災計画は、地震災害や風水害から市民の生命、身体、財産を守るため、災害予防、災害応急対策、復旧・復興対策について実施すべき事項を定めた総合計画である。本市が非常時に優先業務として地域防災計画を補完する個別計画である事業継続計画について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 海沿いの避難所の現状について  (要旨) 台風などの風水害や津波の影響を受けると想定される海沿いの避難所などが機能しない場合の対応について、市の見解を聞く。</p> <p>(3) 周辺住民の周知の状況について  (要旨) 避難所が機能しない場合、市民が命を守る行動をとるには周辺住民の周知徹底が必要と考えるが、市の見解を聞く。</p> <p><b>2 明石公園と旧明石市立図書館について</b></p> <p>(1) 明石公園内の旧明石市立図書館について  (要旨) 1974年、兵庫県から都市公園法に基づく設置許可を受け建設された旧市立図書館は、2023年3月31日に設置許可期間が終了しているが、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 県立都市公園のあり方検討会（明石公園部会）について  (要旨) 県立都市公園のあり方検討会（明石公園部会）と本市の連携について、本市の見解を聞く。</p> <p><b>3 就学前施設について</b></p> <p>(1) 待機児童の現状について  (要旨) 昨年100人だった待機児童が、今年度は44人まで減少している。今後の動向を含め、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 保育教育職の職員確保状況と質の確保について  (要旨) 来年度の公立幼稚園の全園認定こども園化に向けた現在の対応と保育施設の職員確保状況及び質の確保について、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	15	議員名	井藤 圭 順 (自由民主党明石)
発言事項	<p><b>4 明石市の教育環境について</b></p> <p>(1) 教育施設について  (要旨) 児童生徒の増加に伴い、教室の不足から学校敷地内にプレハブ教室の設置が行われている。特に、運動場に設置した場合、敷地が狭隘化し安心安全な教育環境の確保が課題となっている。また、今後の教育施設のトイレと小学校のエレベーター整備について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 教員及び部活動の指導者の確保について  (要旨) これまでも年度途中の産体育休や病気療養休暇による不足教員の確保が課題になっている。新年度を迎えた教員配置や、中学校の部活動の地域移行における指導者の確保などの課題が山積している。現状について、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	16	議員名	河村 和歌子 (公明党)
発言事項	<p><b>1 母子健康手帳の電子化について</b></p> <p>(1) 本市の取組状況について  (要旨) 母子健康手帳については、国の方針で今年度から変更があったと聞いているが、本市の取組状況について聞く。</p> <p>(2) 市民の利便性向上について  (要旨) スマートフォンで多様な情報を収集する昨今、例えば予防接種の管理ができる民間の母子健康手帳アプリを導入し、市民の利便性向上を図ることができないか。</p> <p><b>2 学校における「情報モラル教育」について</b></p> <p>(1) 学校における「情報モラル教育」の現状について  (要旨) 情報社会の今、スマートフォンやタブレットで様々な情報に簡単にアクセスできるため、児童生徒が犯罪・トラブルに巻き込まれる危険性がある。学校における「情報モラル教育」の現状について問う。</p> <p>(2) SNSに起因するトラブルの対応及び周知について  (要旨) SNSに起因するトラブルが増加傾向にあり、未然防止が重要であることから、性犯罪等を含む様々なトラブルへの対応や保護者を含めての周知が急務である。</p> <p><b>3 病児・病後児保育事業の進捗状況について</b></p> <p>(1) 本市の病児・病後児保育事業の拡充に向けた取組の進捗状況について  (要旨) 今年度は、病児・病後児保育事業の拡充に取り組むと聞いているが、その進捗状況について問う。</p>		

発言順位	17	議員名	金尾 良信(市民の会)
発言事項	<p><b>1 明石商業高校福祉科開設に向けて</b></p> <p>(1) 生徒募集について  (要旨) 市内の福祉関係者と連携して生徒募集の方法について協議し、生徒により関心を持ってもらう取組ができないか、市の見解をお答えください。</p> <p>(2) 社会福祉を学ぶ機会について  (要旨) 福祉関係者と連携して、中学校のカリキュラムの中に福祉をテーマにした学習を取り入れ、福祉を身近に感じてもらうとともに、福祉科進学を希望する生徒を増やせないか、市の見解をお答えください。</p> <p>(3) 福祉出前講座の福祉科での実施について  (要旨) 福祉現場の若手職員が外部講師として福祉科に出向き福祉出前講座を行うなど、生徒に社会福祉について、より一層関心を持ち、職業にしたいと思ってもらえるような取組をしてはどうか、市の見解をお答えください。</p> <p><b>2 住みなれた地域で安心して暮らせる障害者支援について</b></p> <p>(1) 障害者のショートステイ先の拡充について  (要旨) 現在の市内ショートステイ先設置数は9か所程度と少なく、利用できない場合は地域から離れて県外、市外を利用するケースも多くあります。改善のための対応策が必要だと考えますが、市の見解をお答えください。</p> <p>(2) 強度行動障害者グループホームの設置について  (要旨) 在宅または入所施設での他利用者との生活環境の共有が困難な強度行動障害者は、専門的な支援や個室環境があるグループホームが必要です。しかし、現状は、軽度対象グループホームは多くあるが、強度行動障害者対応のグループホームがないことから、早期に開設が必要と考える。市の見解をお答えください。</p> <p>(3) 医療的ケアが必要な障害者の日中活動先について  (要旨) 市内における医療的ケアが必要な障害者の日中活動先が限られており、市外の事業所、施設を利用する現状であります。改善のための対応策が必要だと考えますが、市の見解をお答えください。</p>		

発言順位	17	議員名	金尾 良信(市民の会)
発 言 事 項	<p><b>3 福祉従事者への待遇改善について</b></p> <p>(1) 福祉従事者への待遇改善について            (要旨) 福祉現場で働く職員が継続的に働けるように、待遇改善が必要であると考えますが、保育士の待遇改善のようにできないか。対応策について、市の見解をお答えください。</p> <p><b>4 明石市立明石養護学校の課題について</b></p> <p>(1) 看護師の確保について            (要旨) 看護師の安定した確保が早急に必要と考えるが、市の見解をお答えください。</p> <p>(2) 校舎の老朽化について            (要旨) 昭和57年に現校舎が完成して以来、改装や耐震工事等によって施設保全がなされているが、全体的に施設が古く、施設整備が必要であるとする。市の見解をお答えください。</p>		

発言順位	18	議員名	宮坂 祐太 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p><b>1 市財政のさらなる見える化について</b></p> <p>(1) 財政白書の作成・公表について  (要旨) 令和5年3月議会でも議論がありましたが、市の財政状況については、例えばこの間の市債残高の推移一つをとっても、臨時財政対策債を含むか否かで、増減について正反対の傾向が表れる等、多くの市民にとっては分かりづらい点があることから、丁寧で分かりやすい資料の作成・公表が不可欠です。本市では、全国統一様式に基づく財政状況資料集に加え、「かんたんな決算の説明書」を毎年度独自に作成していますが、より丁寧かつ分かりやすい財政白書として、中身を充実させたものを作成し、公表してはどうかと思います。市の見解をお伺いいたします。</p> <p>(2) 方針協議並びに予算編成過程の公表について  (要旨) 市民からお預かりした貴重な税金をどのように優先順位をつけ、配分し、活用していくのか。より一層の市民の理解を得て市政運営を行うためにも、予算編成過程の公表が不可欠であると、令和4年6月議会で市の対応を求めました。特に、予算編成に至る最初の段階である方針協議について公表することの重要性については、前市長からも一定の共通認識を示していただきました。しかし、その後具体的な取組には至っていません。丸谷市長の政治姿勢とも合致する話であると思いますので、改めて、方針協議の公表はもとより、予算編成過程の公表を求めます。市の見解をお伺いいたします。</p>		



発言順位	19	議員名	榎本 和夫（自由民主党明石）
発 言 事 項	<b>1 JR大久保駅周辺市有地の利活用について</b>		
	(1) JT跡地公共公益施設用地について (要旨) 2017年に市が取得したJT跡地の一部であり、2024年まではマンションのモデルルームなどの用地として貸付中だが、その後はどうするのか。		
	(2) 中部地区保健福祉センター用地について (要旨) 過去に保健福祉センターの建設を計画していたが、介護保険制度が開始されたことから建設の必要性が見直され、現在に至るまで駐車場として貸し出されたままである。今後の予定はどうなっているのか。		
	(3) 大久保市民センターについて (要旨) 建築後40年以上経過し老朽化が進行しており、耐震性能も不足しているが、同センターの在り方について問う。		
	(4) 駅南ロータリーについて (要旨) 昨年12月議会で突然、前市長が図書館機能を持つ複合施設を建設すると言及されたが、その後の予定はどうなっているのか。		
	<b>2 山手小学校のより良い教育環境の確保について</b>		
	(1) 児童数増加に伴う市の対応について (要旨) 山手小学校では、児童数の増加に伴い必要な教室数に余裕がなくなってきたと聞く。より良い教育環境の確保に向けた方策としての校舎建設用地取得の進捗状況を問う。		
	<b>3 市長の公約について</b>		
	(1) タウンミーティングの毎月開催について (要旨) タウンミーティング開催の目的を問う。		
	(2) 市民全員・事業者サポート券の発行について (要旨) 当初から国の交付金の活用を予定していたのか。市単独でも事業を実施したのか。		

発言順位	20	議員名	山下 祥 (市民の会)
発言事項	<p><b>1 ユニバーサルで安全・安心な海岸づくりについて</b></p>		
	<p>(1) 本市におけるビーチのユニバーサル化について  (要旨) 本市はビーチに恵まれた地域優位性を有する一方、その多くは砂浜に足を運ぶために階段の上り下りを伴い、車イスやベビーカー、杖が必要な方のアクセスに改善の余地があると考えます。「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画」を策定し、誰も取り残されることのない共生社会の実現を目指す本市において、ユニバーサルビーチ推進の必要性和現状への認識を問う。</p>		
	<p>(2) 今夏の本市における海水浴遊泳期間の対策について  (要旨) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、今夏は例年より多くの海水浴客でにぎわうことが予想される。各海岸における海水浴場開設方針と、本市の安全対策を問う。</p> <p>(3) 林崎松江海岸及び各海岸における水上バイク事故対策について  (要旨) 令和4年3月30日に「明石市水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する条例」が施行されてから一年超が経過した。対策による効果や課題と、それを踏まえた今後の対策に関して見解を問う。</p>		
<p><b>2 スポーツを核としたまちのにぎわい創出について</b></p>			
<p>(1) 大規模大会の誘致について  (要旨) ビーチスポーツ界における世界最高峰の大会として、国内オリンピック委員会連合主催の「World Beach Games」があり、その日本招致プロジェクトとして「JAPAN BEACH GAMES® Festival」が国内各地で開催されている。大蔵海岸は、ビーチサッカー国際親善試合の開催実績もある。誘致に向けた活動をしてはどうか、見解を問う。</p> <p>(2) 「あつまれ！野球っ子」の開催について  (要旨) 過去2年間はコロナ禍によって中止になっていた、プロ野球OB選手による「集まれ！野球っ子」について、本年度予算事業として挙げられているが、開催に向けた進捗状況を問う。</p>			
<p><b>3 大蔵海岸の利活用について</b></p>			
<p>(1) 大蔵海岸公園におけるさらなるにぎわい創出のための運営方針について  (要旨) 本公園は、駅からのアクセスや眺望、砂質も良く、国内屈指のビーチパークとしての可能性を秘めていると考えます。さらなるにぎわい創出に向けた今後の運営方針を問う。</p>			

発言順位	20	議員名	山下 祥 (市民の会)
発言事項	<p>(2) 西駐車場の土地活用について  (要旨) 2019年度の商業施設誘致を経て、改めて誘致に取り組むことになるが、その課題と方針を問う。他方、スケートボードパーク開設や明石の海や生態系を学べる空間づくり、収益化の側面から、ワーケーションスペースやカフェの併設など、商業施設誘致にとどまらない活用方法の検討並びに市民目線のニーズ調査も検討してはどうか、見解を問う。</p> <p>(3) バスケットボールコート設置について  (要旨) かねてより市民から市に対してバスケットボールコート設置に関する多くの声が届いている。沖縄県アラハビーチや大阪府泉南ロングパークなどのビーチ併設コートを参考に、大蔵海岸の芝生広場における設置を検討してはどうか、見解を問う。</p> <p>(4) 東外港地区再開発計画並びに新市庁舎供用と連携した回遊性の高いまちづくりについて  (要旨) 明石駅から朝霧駅間の回遊性を高めることで、より魅力あふれるウォーターフロントエリアになると考える。東外港地区再開発計画並びに市庁舎建て替えと連携し、大蔵海岸も活かした回遊性の高いまちづくりに向けて検討してはどうか、見解を問う。</p>		

発言順位	21	議員名	辰 巳 浩 司 (自由民主党明石)
発 言 事 項	<p><b>1 明石港東外港地区再開発について</b></p> <p>(1) 再開発計画策定から現在までの取組内容について  (要旨) 2018年3月に、再開発計画を策定してから5年が経過した。その間、計画を踏まえ、どのように取組を進めてきたのか。</p> <p>(2) 再開発の今後の取組について  (要旨) 今後、市役所新庁舎整備を控えるなか、県有地と市有地との一体利用に向けて、どのように取組を進めていくのか。</p> <p><b>2 明石市公設地方卸売市場の今後の方向性について</b></p> <p>(1) 卸売市場が持つ機能とその重要性について  (要旨) 卸売市場は、漁業者や農業者の取引拠点の一つとなっており、本市にとっても重要な施設であると考え。市の考えを聞く。</p> <p>(2) 卸売市場の老朽化の現状について  (要旨) 卸売市場は、昭和52年に開場し、建屋は耐用年数を超えている。さらに、昨年度には、屋根から断熱材が落下したと聞いている。現状を聞く。</p> <p>(3) 卸売市場の再整備について  (要旨) 卸売市場の在り方について、明確な方向性を示す時期に来ていると考え。市の考えを聞く。</p>		

発言順位	22	議員名	石井 宏法（自由民主党明石）
発言事項	<p><b>1 本市の交通政策について</b></p> <p>(1) 渋滞緩和策について  (要旨) 本市の主要交通路である国道2号と国道250号（明姫幹線）では、慢性的な交通渋滞が問題である。特に、国道2号は明石駅南から西明石駅間、大久保駅周辺、魚住町長坂寺交差点から二見町福里交差点まで、国道250号は明石高専西交差点から二見車庫北交差点までが深刻な状況である。これらの交通渋滞の緩和策について、本市の見解を問う。</p> <p>(2) 未整備地域を含むたこバスの新設及び増便について  (要旨) 市民からは「たこバス」の新路線設定と増便が求められており、特に、交通手段が限られる未整備地域での問題は深刻です。これが生活水準や地域経済、福祉に悪影響を及ぼし、買い物難民問題を増大させています。市全体での増便策を推進し、市民生活の質の向上と地域振興、交通環境の改善を図るべきであるが、本市の見解を問う。</p> <p><b>2 公職選挙法違反について</b></p> <p>(1) 2連ポスターの違法性について  (要旨) 告示前に市内に掲示された丸谷聡子氏と泉房穂氏の2連ポスターは公職選挙法違反であると考えるが、選挙管理委員会の見解を問う。</p>		

発言順位	23	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p><b>1 市政の懸案事項について</b></p> <p>(1) 市役所新庁舎整備について (要旨) 今後の進め方について問う。</p> <p>(2) 市民病院の建て替えについて (要旨) 今後の取組について認識を問う。</p> <p>(3) 図書館整備について (要旨) 今後の進め方について問う。</p> <p>(4) 旧市立図書館について (要旨) 今後の対応について問う。</p> <p>(5) 生活福祉課の紛失金203万円について (要旨) 本件に係る認識と今後の対応について問う。</p> <p><b>2 交通政策について</b></p> <p>(1) 山陽電鉄駅舎のバリアフリー化について (要旨) 今後の取組について認識を問う。</p> <p>(2) 踏切のバリアフリー化と安全対策について (要旨) 車いす、シルバーカート、ベビーカーなどの車輪がレールと路面の隙間にはまることへの対策や視覚障がい者が誤って線路内に侵入することのないようにするための取組について、見解を問う。</p> <p>(3) コミュニティバスの利便性向上について (要旨) 路線拡充と増便について、見解を問う。</p> <p>(4) 交通不便地域の解消について (要旨) デマンド型乗り合いタクシーの導入について、見解を問う。</p> <p><b>3 幼稚園・保育所の防災対策について</b></p> <p>(1) 避難訓練や消火訓練について (要旨) 実施に係る基準と状況について、認識を問う。</p> <p>(2) 防災設備に係る基準について (要旨) 認識を問う。</p> <p>(3) 市内の施設の現状について (要旨) 認識と今後の対応について問う。</p>		

発言順位	23	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p><b>4 公共施設のトイレに係る課題認識について</b></p> <p>(1) 学校・幼稚園・保育所のトイレについて  (要旨) 改修と温水洗浄便座の設置について、認識を問う。</p> <p>(2) コミュニティセンターなど文化施設のトイレについて  (要旨) 洋式化と温水洗浄便座の設置について、認識を問う。</p> <p>(3) 公園のトイレについて  (要旨) 街区公園へのトイレの整備について、見解を問う。</p>		

発言順位	24	議員名	中西 礼 皇 (対話の会あかし)
発 言 事 項	<p><b>1 議案第50号 令和5年度明石市一般会計補正予算(第3号)「市民全員・事業者サポート事業」について</b></p> <p>(1) 事業内容、対象者等内容の妥当性について            (要旨) 金券、3千円、全市民といった事業内容の妥当性について問う。</p> <p>(2) 財源について            (要旨) 一般会計からの繰入れについて問う。</p> <p>(3) 他の事業との比較検討について            (要旨) サポート券以外の事業とどのように比較・検討されたのかを問う。</p> <p><b>2 市民の意見を聴取する方法について</b></p> <p>(1) 市民意識調査について            (要旨) 市民意識調査の時期、内容について問う。</p> <p>(2) 市民アンケートについて            (要旨) インターネットでのアンケートも含め、積極的に実施すべきと考える。</p> <p>(3) 市民モニター制度について            (要旨) 無作為抽出によるモニター制度を市政全般や市施設を対象に導入すべきと考える。</p>		



発言順位	25	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p><b>1 こどもを核としたまちづくりについて</b></p> <p>(1) 保育士の労働環境について  (要旨) 本市では、認可・認可外問わず、市内保育施設に関する相談ができる「保育あんしんダイヤル」が設置されているが、相談につながらず退職する保育士も多いと聞く。退職者が相次ぐ施設の労働環境や相談窓口が保育士に周知されているのかなど、現状や今後の取組予定などをお尋ねしたい。</p> <p>(2) 市内公立保育所の存続について  (要旨) 本市では、公立の保育所や幼稚園・認定こども園があり、今後、公立幼稚園では、認定こども園への移行が予定されている。他の自治体では、公立保育所の民営化が進められていると聞くが、障害のある子どもや医療的ケアを必要とする子どもの保育体制を整備するためにも、公立の役割は重要だと考える。公立保育施設の役割や今後の方向性について、本市の見解をお尋ねしたい。</p>		